



すげえほこりだな。んだなあ。（年の瀬の大掃除を特養住民と職員で）

# やすらぎ

題字：佐藤喜次さん筆（特養住民）

## 主な内容

年頭のごあいさつ	P 2
ぶなの園の師走	P 3
特集「中堅よ理想を語ろう」	P 4
シリーズ「あの場所、あの人」	P 5

No. 42

2009 新年号

平成21年1月15日発行

# 新年おめでとうございます

## 誰もが安心して暮らせる福祉をねがっています

ぶなの園施設長 高橋一雄

新年明けましておめでとうございます。介護保険制度が施行されて八年が過ぎました。戦後六十年築いて

います。きた老人福祉と公的責任は投げ捨てられ、猫の目のように変わる制度、重くなるばかりの負担にとまどいと怒りを広げています。

今年二〇〇九年には三回目の介護報酬改訂や制度の見直しが予定され、三十歳からの保険料徴収、利用者負担の引上げ、要支援、要介護Iの保険給付の切り捨てなどが検討されております。また、前の改正による介護報酬の切り下げで、特養も在宅福祉も経営はがけつぷちに追いこまれ、低賃金と厳しい仕事の中で、高齢者福祉、介護を支える人材の不足は誠に深刻です。

世界一の長寿社会をつくりあげた日本、保健医療の先進と言われる西和賀の高齢者福祉の現状とこれからを町民の皆さまと一緒に考えてゆきたいと願っています。安心の老後を支える高齢者福祉、介護保険は、このままで本当によい

でしょうか。規制緩和と競争原理の効率重視で福祉は本当に良くなるでしょうか。「よりよいサービスは選別されて残る。」と言うのですが、都市も山村も同一視してよいものでしょうか。劣悪なサービスしか使えない、あるいは、それしか使うことの出来ない高齢者は一体誰が守るでしょうか。私たちは、どんな状況にあっても、利用者住民のために安心安全の支援を続けてまいります。

住み慣れた地域で暮らし続けるためには、私たちのようなサービス事業所から、必要に応じて、必要なときに、必要なサービス提供、加えて、公的責任によって予防や健康増進事業の拡充が必要であります。

仕事に対する真摯な努力と明るい笑顔と対応が私たちの業務の原点であることを忘れずに頑張つてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



丑年の石井イナさんと施設長で、だるまさんに願いをこめて

今年二〇〇九年には三回目の介護報酬改訂や制度の見直しが予定され、三十歳からの保険料徴収、利用者負担の引上げ、要支援、要介護Iの保険給付の切り捨てなどが検討されております。また、前の改正による介護報酬の切り下げで、特養も在宅福祉も経営はがけつぷちに追いこまれ、低賃金と厳しい仕事の中で、高齢者福祉、介護を支える人材の不足は誠に深刻です。



特養住民のお正月は職員やご家族といっしょに昔ながらにすごしています

市も山村も同一視してよいものでしょうか。劣悪なサービスしか使えない、あるいは、それしか使うことの出来ない高齢者は一体誰が守るでしょうか。私たちは、どんな状況にあっても、利用者住民のために安心安全の支援を続けてまいります。

住み慣れた地域で暮らし続けるためには、私たちのようなサービス事業所から、必要に応じて、必要なときに、必要なサービス提供、加えて、公的責任によって予防や健康増進事業の拡充が必要であります。

仕事に対する真摯な努力と明るい笑顔と対応が私たちの業務の原点であることを忘れずに頑張つてまいります。



世界一の長寿社会をつくりあげた日本、保健医療の先進と言われる西和賀の高齢者福祉の現状とこれからを町民の皆さまと一緒に考えてゆきたいと願っています。安心の老後を支える高齢者福祉、介護保険は、このままで本当によい

でしょうか。規制緩和と競争原理の効率重視で福祉は本当に良くなるでしょうか。「よりよいサービスは選別されて残る。」と言うのですが、都市も山村も同一視してよいものでしょうか。劣悪なサービスしか使えない、あるいは、それしか使うことの出来ない高齢者は一体誰が守るでしょうか。私たちは、どんな状況にあっても、利用者住民のために安心安全の支援を続けてまいります。

住み慣れた地域で暮らし続けるためには、私たちのようなサービス事業所から、必要に応じて、必要なときに、必要なサービス提供、加えて、公的責任によって予防や健康増進事業の拡充が必要であります。

仕事に対する真摯な努力と明るい笑顔と対応が私たちの業務の原点であることを忘れずに頑張つてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

仕事に対する真摯な努力と明るい笑顔と対応が私たちの業務の原点であることを忘れずに頑張つてまいります。

# 特養ぶなの園家族会のみなさま 恒例年末大掃除 ありがとうございます



毎年、特養住民に気持ちよく新年を迎えていただくように年の瀬の忙しい中、お部屋などを家族会のエネルギーをお借りして、大掃除を行なっています。その様子が表紙とここにある写真です。

特養住民の中には、忙しくし



◆正月の忙しい状況  
家の正月は、家の関係上ゆっくり過ぎた記憶がない。大晦日も、他所の家では皆で年取りの食事をし

◆普段の生活  
旅館のほうもやっていました。のでほんとに忙しい日々でした。下宿人も多いときは六人もいましたし、停電作業の時などは、電力作業員が二十人も宿泊していましたから、それはそれは、



一生懸命稼ぐから、息抜きが大切ですね 右から2番目がカツさん

ていた頃を思い出して自然と大掃除に参加する人もあります。そうです、だれもが年の瀬をおわたさしく暮らしていただくのです。特に、ご商売などをしていた人はさぞ忙しかつたと想像します。

一応家族分のお膳を準備して始まりますが、明日からの、御年始の来客のための料理の、下準備もしなければなりません。で、ゆっくり出来ません。そうこうしていると除夜の鐘でした。元旦も開店してましたから本当にあわただしい正月でした。



どっちが働いてる？ 昭和40年 自動車がなかった

ているような時間に、ようやく店じまいでした。それから女の人(二人)が俗に言うところの年取り料理の準備です。男たちは神

大変でした。朝食の片づけが終るとすぐに昼食の支度、夕食は夕食でお酒が入るのでなかなか終わりません。大変でしたが良くやったものだあと、思い出します。

◆新年への言葉  
年が明けて小正月がくると誕生日(大正十五年一月十五日生)なので八十三歳になります。平成八年に発病してから十三年になります。平成十年にぶなの園にお世話になり今日に至っています。これからもよろしくお願ひいたします。

後になりましたが、新年明けましておめでとうございます。

# 特集(第3話) 中堅よ理想を語ろう

今回は、中堅職員4名の他に地域のKさんにも参加していただき、新たな視点を加えて思ったところを話し合ってみました。

A・・高齢者の中でも、七十五歳前の人たち(いわゆる若いとしよれ)にももう少し頑張ってもらえないものだろうか。つまりは、仕事や地域の役割的なものでなくて、ごく身近な場所でも難しくないボランティアとか。

H・・そのためには、近所の人達が老人クラブ、婦人会などに、今よりも気軽にいかれるような雰囲気を作りたいね。



ママ、たげたにおいだ～

## 住み慣れた地域で暮らすということ 今、支えあえるかたちとは？

K・・でもね、その「気軽に」が難しいんだよね。たとえば、沢内バーデンに行つて風呂に入つて、ごつごつおなど持ち寄つて、バーデンの料理も少し食べて、寝て、ゆつたり過ごすことがある。そこで若いとしよれは、「体操なんかあれば」と言うが、としよれは

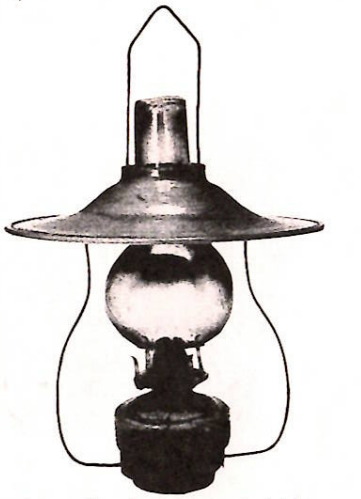
J・・ボランティアで来た人が、高齢者のマイナスイメージだけを地域に話すことがあれば、敷居が高くなるだろうね。でもマイナスイメージを伝えるには出来ないし、伝えることはある意味必要だし、肝心なのは、マイナス面を持ちながら楽しく暮らしていることを職員がボランティアさんへ毎回伝えようとしているかだね。

M・・ちよつと待つて。この場合は、夢希望を語るのが目的なんだから、話しが広がらない内容はやめにしよう。そう、例えば、若い元気なとしよれの方々がとしよれの話し相手というのはどうだろうか。

H・・でも、実習生が来て、「コミュニケーションを頑張りたい」というのが、難しいように、うまくいかない様子をよく見るが

A・・だから、さつきも言ったとおめようよ、会議ではないのだから話し相手を望んでいる高齢者が多いのは、みんな感じていと思うよ。やっぱり、近所の人との茶飲み話がいいように、思つたままを聞いて欲しい時は近所じやないほうがいいみたいだね。

K・・二、三人のグループでの訪問がよいと思う。そうすれば、お互いの介護予防のためにいいですよ。



家のどこかにあったけな

ね。昔は当たり前だったのに、今は、そういう「つながり」を築いて作ろうとしないといけないんだね。

K・・国のほうでもそう言ってるらしいね、福祉の村、沢内でもそうだったんだね。ところで、がんばつていた頃の懐かしい話しをする「昔語り」をする場があれば、面白がつて集まらないかな。

A・・身近な人が、懐かしい写真や道具を持ち寄つて集まるようになるんじゃないかな。

J・・それなら、デイサービスで好評の「回想法」を老人クラブに教えに行つてみようか。

K・・そうだよ、沢内バーデンに集まるふれあいの家にも教えに行つてみてよ。そしてだんだんに、参加者で進められるようになるんじゃないかな。

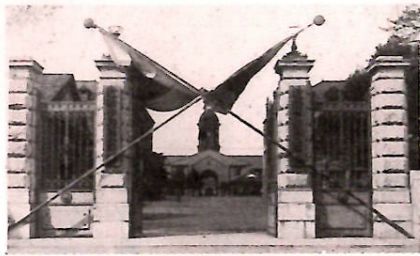
## あの場所、あの人、思い出せば 懐かしくもあるが、希でもある

「若かりし頃のよき思い出」  
深澤春江(九十九歳)



太田の「カニム」で生まれ、会生が演芸の兄弟がいた。近衛兵の演芸会だ。高等科まで入ったが、父親が早くに亡くなり、オラは小学校六年生までしか入れなかった。子どもたちも多かったけれど、母親も難儀した。オラも一生懸命百姓をして兄が学校さけるように稼いだもんだ。

同じ部落の「オド」と十八才の頃結婚した。(オドの家に)稼ぐ人がえねして嫁にもらわれたのだ。オドは近衛兵(コノエヘイ)と発音?現在の皇居の守衛)をしていて、二回位、飯炊ぎと一緒にいて、いいところだった。みんな



近衛兵の正門。百歳になっても、今だばその娘から世話になりっぱなしで申しわけねえ。

聞取り...佐々木愛子(ケアマネージャー)

## かたくりの園利用者から聞いた 「酒」どぶろく」の懐かしいはなし

酒(どぶろく)を自由に作り、各家庭の味を楽しみ、地域によつては、特区で販売出来る事は皆さんもご存知でしょうが、その昔、どぶろく作りは家庭で許されず、隠しながら作つたかたくりの園に来ていた人達に思い出を聞かせてくれました。

「自分は作らなかつた(本当?)が、隣のおばあさんは上手だっけ」「だれそれは水っぽいの」「あの人の甘いっけ」と話してくれます。でも怖いのが「酒あらため」だったそうです。



「ペ」があつたそうです。Tさんの話では、近所に情報の早い人がいて、調査員と世間話をして隠す時間を作つたお蔭で、部落の人達が難を逃れたそうです。

お金より着物一枚が米一表(六十キロ)と交換出来た事など、全てが手作業で自分の体が主流だった時代、大変だったけど、今日よりの心豊かさがあつたかも...みなさんで懐かしく話していました。

# 福祉の土壌づくり

施設福祉課長 高橋公男

私が地元の特養老人ホームに就職したのは今から三十年ほど前のことである。当時「特養」と言っても、ほとんど知る人もなく、わたし自身もよくわからないまま、老人福祉に携わることになった。

当然、勤める介護職は素人のおぼさんたちが主流で、とにかく暗中模索、無我夢中の時代であった。それが現在ではマスコミでも多く取り上げられ、朝のテレビ小説でも介護福祉士が取り上げられるほどであり、また選挙



小学生と高校生と大学生とおぼさんと、だんごをつくりましたとき。平成十二年、措置から介護保険へと大きな変革があつてからは、企業意識、勝ち組み・負け組み、福祉を食べ物にしたコムスン問題など社会保障は大きく揺れ動いた。国が「社会全体で介護を支え

る」「民間企業の参入で質の高いサービスを誰もが受けられる」と高い理念を掲げた介護保険制度は、もろくも崩壊しつつあるように思われる。

住み慣れた地域で、障がいのある人もない人も、家族や地域の中でその人らしい自立した生活を送ることが出来る地域社会の形成が必要であることは言うまでもないが、地域を取り巻く厳しい環境の中で、なかなか思うようにいかな

い。そのような中で、福祉施設が地域から求められる役割の一つに『福祉の土壌づくり』があるので、はなかるうか。ぶなの園がある周辺地域には、保育所、小・中学校、西和賀高校などがある。これら児童・生徒との交流が一つのきっかけとなり、女性や老人層との交流へとボランティア活動の輪がひろがり、ともに支え合う精神を学ぶことができる。

## 和賀川



在宅福祉課長心得 前島正人

二〇〇八年の和賀川は例年と比べて、穏やかな流れが続いたようです。ところが、みなさん承知のように、この国と世界中は激流の中にあり、突然、仕事も家も失う人、将来の約束を覆された若者などが、今までにないくらいたくさんの方がいました。

川の流れに治水は必要で、治水すること付近の開発が進むことがあるかもしれませんが、長い年月を経た後に、自然のバランスが崩れ、人々の生活が危うくなり「人の手」を入れすぎたと気が付くことがあります。

今の世界中の激流は、例えば、金銭欲、成功欲に手を入れすぎた結果との評論があります。

やはり年金の受け取り金額は心配で、お金にゆとりがあつての長生きがしたいでしょうか。和賀川は穏やかな流れを見せて、人の在り方についての振り返りを求めているかもしれません。

うちのおばあさん  
おじいさんはえらい!

このページは子どもとおとしよりのいる風景をお伝えしています。今回は、川舟小学校五・六年生に絵日記で伝えてもらいました。

(次号に続く)



なまえ 田中美波  
私のおじいちゃん  
は、すごいです。  
何がすごいって、  
まき割りです。

木を一回で、上  
手に割ります。割る  
時に、バキーン、コロ  
ン。という音が  
します。



なまえ 吉田遙奈  
私のばあちゃん  
は、すごいです。  
何がすごいって、  
細工をします。  
五才で、いろいろな  
形のかたを  
作ります。



なまえ 前島風太  
ぼくのおじいちゃん  
は、すごいです。  
なにがすごいって、  
おじいちゃんが車を

運転することです。  
長時間は運転でき  
ないけれど、いろいろ  
所へ連れて行って  
くれます。



なまえ 石井理紗  
私の、ばあちゃん  
は、すごいです。何が  
すごいって、おきまわり  
まいんです。片手で  
おきまき、何回でも  
できます。私はお  
ばあちゃんみたいに  
出来るようになり  
たいです。



なまえ 高橋舞  
わたしのおばあちゃん  
は、すごいです。何が  
すごいって、料理です。  
おばあちゃんほどま  
に、おきまき

ピーマンを作るの  
が、とても得意です。  
おばあちゃんほどま  
に、おきまき



□特別養護老人ホーム  
ぶなの園

□デイサービスセンター  
ぶなの園

□ホームヘルプステーション  
ぶなの園

□西和賀介護相談室  
西和賀町沢内字太田2地割135番地  
電話 0197-85-2322  
FAX 0197-85-2317  
Eメール  
bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp

□高齢者生活福祉センターかたくりの園  
西和賀町沢内字大野17地割140番地1  
電話 0197-85-3388  
FAX 0197-85-3389

(発行・編集)

社会福祉法人やすらぎ会  
広報委員会

## 平成20年9月～11月

### 【ご寄付】

- ・岩井川俊作様
- ・高橋 みや様

### 【ご寄贈】

- ・四季彩の宿ふる里様
- ・西和賀町農業委員会様
- ・特養家族会様
- ・西和賀町商工会女性部様
- ・沢内第一小学校様
- ・藤原タミ様

### 【ボランティア等】

- ・どれみの会様 (特養支援)
- ・泉沢婦人会様 (健康を祝う集い)
- ・太田婦人会様 (ホーム喫茶)
- ・高橋佑子様 (デイ支援)
- ・佐々木エリ子様 (デイ支援)
- ・西和賀高校生徒の皆様 (窓拭き)
- ・おはなしきらきら様 (紙芝居等)
- ・高橋昭士・和子様 (唄、踊り)
- ・深澤ノリ様 (デイ支援)
- ・高橋睦子様 (手話)
- ・響ファミリー様 (演劇)

あたたかい善意を頂戴し  
厚くお礼申しあげます

## 編集後記

明けましておめでとうございます。

さあ今年、どんな事が待っているのでしょうか。どんな事を成し遂げようと思っていますか。どんな事が起きてほしいと願っていますか。

とにかく、さあ、動いてみましょう。小さな動きでも、あなたが動けば、新しい時空が流れ始めるでしょうから、うまくその流れに乗って行きましょう。

そう、新しい年と希望に乾杯。

## やすらぎ会 季節の風景



この風景は12月24日のデイサービスぶなの園送迎車とぶなの園です。この年はこの通り、雪がありませんね。この次期はどの人も長靴でデイサービスぶなの園に遊びに来るのですが、いまだズックで来る人が目立ちます。いずれにしろ、足元に気をつけましょう。